

# えんちょう先生の わくわくだより NO. 9

令和2. 8月5日



五本ゴキブリ  
クチククチククチ  
四本ちようちよが  
ヒラヒラヒラ  
三本せみが  
おしこピッピッ  
二本くわがた  
ガタガタガタ  
一本いもむし  
ハイハイハイ

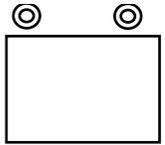
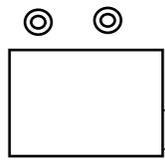
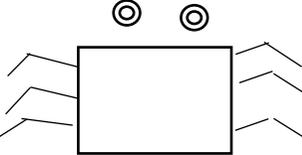
## ♥手遊び



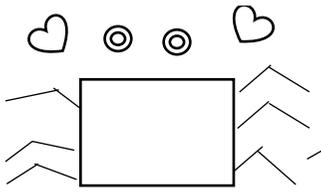
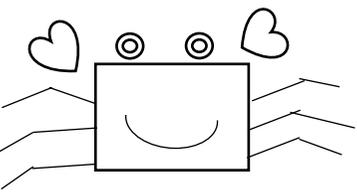
コロナ感染や災害、事件に事故・・・とテレビをつければ暗いニュースばかりが流れる毎日。そんな中ですが、こども達は本当に元気！一昨日、昨日と年長さんは、園庭の草取りを頑張ってくれました。就学に向けて、自分のノートを作って、鉛筆を使って絵描き歌を楽しんだり、家で練習してきた自分の名前をかいてみたりなど、鉛筆の持ち方やノートを使っての遊びも始まりました。年中さんは、オクラの薄黄色の花や上に向かって伸びるオクラの絵を描いたり収穫もしました。昨日に続いて今日も杉本先生の畑に水やりと草取りです。「重い時は早歩きすると楽だよ」なんて先生に声をかけられながら歩いたそうです。そうそう、カブトムシの幼虫がさなぎから10匹位、成虫に孵っていて大喜びしていました。幼虫を頂いた村田のおじいちゃんにも報告しなくては。年少さんは、もっぱら水あそびに明け暮れてわいわいきゃーきゃーと大きな声が聞こえ続けています。パーテーションを立てての昼食時は、みんなとても静かに小さい声でお話ししながら上手に給食を食べるよ。昨日は、未満児のうさぎさんも「頑張って先生と草を取ったよ」とバケツの草を見せてくれました。お昼寝前の絵本が楽しみ、「おおかみだあ」や「みんなうんち」の本が大好き。いちご、ひよこさんは、日陰の砂場で遊んでから一人ずつシャワーをして貰ってすっきり！そうすると、又お部屋でお利口に遊べます。午睡もみんな泣かずに眠れるようになってきました。4日・5日は隣の部屋同士先生が交代して、同じ年次のこどもをみんなよく知っていく取り組みもしています。こども達は「先生が変わっちゃったよ！」と喜んでます。岩村こども園はどの年次の先生もこどもの事をよく知っています。職員室に来ると、保育中のいろんなこども達のエピソードを笑いながら聞かせてくれるので、園長も副園長もこども達の様子がとてもよくわかります。未満児から年少、年中、年長と繋がって成長するこども達だから、みんなで見守っていきたいと思います。

## みんなで書いてみよう！

えかきうた

→    

しかくいおさら      ドーナツふたつ      むこうのやまに      からすがとんだ

おはながさいて      カニさんがわらた

お花が笑った  
のリズムだよ♪

## おねがい



コロナ感染で4月から予定をしていた様々な行事が中止になってしまいました。何とか、お家の人にこども達が戸外で元気に遊ぶ姿を見て貰おうと計画した「自由参観日」も雨やコロナの広がりです。1回しかできず本当に残念でした。何とかコロナ感染が収まってくれるようにと状況を見守っている所です。予定して下さっていた保護者の皆様には申し訳ありませんでした。こども達の様子は見えなくてもこどもが園でどんな生活をしているかが分かる様にクラス通信やお便りで知らせていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。ホームページにも、今年度の事業計画や保育の計画をまとめた岩村こども園の全体としての計画もいれておきますので、見て下さいね

## コロナの時をどう過ごすか？

一月、中国の武漢から広がった新しいコロナウイルスの感染症。薬もワクチンもないから怖い。4月の緊急事態宣言での休みは長かったが、今又、岐阜県では独自の緊急事態宣言が出された。全国的に毎日感染者は第1波よりはかなり多いが、20代30代の若い人への感染数も多く、重症になる人は以前と比べると随分少ないと言われる。ウイルス菌が弱毒化したのではないかと話す人もいます。十分に気を付けながら旅行に行きましょうという人がいれば、お盆の帰省は高齢者にうつすから考えて下さいと話す人もいます。情報が錯綜して、いったいどう行動したらいいのか？その上、温暖化？か災害もここ数年いやに大きく被害も甚大になってきた。まず、私達の生活に、こんな時代が来てしまった事を受け止めなくてはならないと思うこの頃です。これから生きていくこども達は、「今、どこへも行けなくてストレスが溜まります」・・・なんてテレビのインタビューで言っていたが、もしかしたらこんな日常が頻繁に来る時代に生きていく事になるかもしれないと考えると、では、何をどう変えていけばいいのだろうか？昔は戦争が一番怖いと親に教えられてきたけれど、これからは目に見えず、いつ起こるかかわからない事象に立ち向かっていかなければならないこども達かもしれない。

今迄、至れり尽くせりで物に溢れ、休みと言えばお出掛けが当たり前の生活をしていた私達も立ち止まってみる機会かもしれないですね。

長年生きて来た私のこどもの頃は、大人は働くのに精いっぱい、こどもはこども仲間だけで過ごすべを考えると時間をつぶして来た。冷蔵庫もテレビもなく、買い置いた菓子などは毛頭なかった。車もまれに通る位で、家の前の道路は、こどもで溢れていた時代です。今の様に勉強もさほどしなかったし、確かに自由な時間が山ほどある反面、今の時代の様な不安は少なかった気がする。風の音や雨の音で目が覚めるような古い家に住み、暇な時は本を読んだり、あてもなく歩き回っていた事を思い出す。今から思えば、貧乏で、お金や遊び道具もなかったが、大人の干渉も少なく、あれこれこどもはやりたい事を好きなだけやって、大きくなれた時代だったかもしれない。今は、行ける所も、行ける手段もたくさんあるだけに、出掛けて楽しむ事が多いが、家で過ごす楽しみ方？も家族で考えてみると又、新たに見つかるかも。懇談会で、あるお父さんが「アウトドアが好きなので、今は家の庭にテントを張っています」と言われた方がありましたが、それもわくわくしていいですね。そしてこんな時は、かわいそうと思うより、命を守るために少々我慢を皆でする時である事を子どもに教えていく事が大事なかと。お家の皆さんも、元気を出して、乗り切ってくださいね。